

六花の輝き

<教育目標>
喜んで登校し、
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25
TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188
E-mail takashi@jorne.or.jp

令和2年度前期 学校評価（報告）

本校では、教育目標「喜んで登校し、生き生きと学ぶ子ども」をめざし、「めざせ！たかし！」を重点目標として教育活動に取り組んでいます。教育活動を【1, 学び：「学力の向上」】【2, かかわり：「豊かな心、社会性の育成」】【3, 健やか：「健康、体力づくり」】の観点から、子どもたちの様相や学校としての取組状況はもとより、子どもたちや保護者の皆様のアンケート結果等を参考に、全職員で話し合いを重ね、1学期の教育活動の点検・評価を行いました。今回の結果に基づき、2学期以降の教育活動の改善に取り組めます。

*数字は、4段階評価の「とてもそう思う」「少しそう思う」の割合の合計（以下、「肯定率（%）」）
*昨年度の「肯定率」は、令和元年度前期の結果。

1 学び：「学力の向上」



（1）児童アンケートより<アンケートの結果と数値のとらえ> 数字は%

項目	今年度	昨年度	+-
口を閉じて、先生や友達の話をしっかり聞いている。	94.1	94.1	0
相手の方を見て、聞こえる声で話している。	95.2	93.1	+2.1
授業がよく分かる。	95.0	95.2	-0.2
話し合いで、考えが確かになったり、深まったりしている。	90.8	91.4	-0.6
決められた時間、家庭学習をしている。	92.4	93.1	-0.7

・どの項目も肯定的評価が90%を超えています。これは、「学びのスタンダード」「高志っ子の家庭学習の手引き」を示したことで、授業の開始時刻や学年で決まっている家庭学習の時間を守ろうとする子どもが増えるなど、内容の意識化が図られたことによるものと考えます。

（2）保護者アンケートより<アンケートの結果と数値のとらえ> 数字は%

項目	今年度	昨年度	+-
学校の勉強について「分かった」「できた」という思いを感じている。	86.5	82.7	+3.8
「学びのスタンダード～家庭学習編～」の約束を守って、家庭で学習している。	77.6	75.1	+2.6

- ・児童の評価に比べ、保護者の肯定的評価は低い結果でありましたが、昨年度同時期の評価よりも若干高くなっていました。臨時休校や分散登校などで、例年とは違った学習環境の1学期ではありましたが、今後も学力の向上に向けて、家庭との連携を密にしていきます。家庭学習に関しては、保護者アンケートの自由記述でも、宿題や自主学習の内容に関する意見もいただきました。習慣化を図りながらも、各自が進んで取り組み、力を伸ばす自主学習となるよう、各学年で家庭学習カードを工夫していきます。

(3) 教職員アンケートより<アンケートの結果と数値のとりえ> 数字は%

項目	教職員	子ども	+-
口を閉じて、先生や友達の話をしっかり聞いている。	66.7	94.1	-27.4
相手の方を見て、聞こえる声で話している。	44.4	95.2	-50.8
話合いで、考えが確かになったり、深まったりしている。	65.4	90.8	-25.4

- ・教職員の評価では、子どもの評価と大きな開きが見られました。特に、「聞く(聴く)」「話す」ことや、考えが深まる話合いの活動などは、コロナ禍における制限された授業内容も影響しているものと思います。ただ、子どもと教職員の肯定的評価の開きは、よい話の聞き方や話し方のとりえに差があることも要因と言えます。そこで2学期は、各学年で今一度、自分たちが目指す「聞き(聴き)方」「話し方」の具体的な姿を明確にし、日々意識できるようにしていきます。また、学年で目指す「聞(聴)き方・話し方」をしている子どもの姿を称賛し、よさを価値づけて示すことを繰り返しながら、定着を目指していきます。



2 かかわり:「豊かな心、社会性の育成」

(1) 児童アンケートより<アンケートの結果と数値のとりえ> 数字は%

項目	今年度	昨年度	+-
学校に来るのが楽しい。	96.1	93.7	+2.4
学級や縦割り班で活動するのは楽しい。	94.6	93.3	+1.3
自分にはよいところがあると思う。	88.0	88.1	-0.1
「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」などのあいさつをしている。	94.1	93.5	+0.6
学校のルールやマナーを守って生活している。	95.4	95.8	-0.4

- ・児童の肯定的評価は、どの項目も高いものがありました。特に「学校に来るのが楽しいですか」「学級や縦割り班で活動するのは楽しいですか」は、昨年度同様に高い評価でした。これは、当校に教育目標「喜んで登校し、生き生きと学ぶ子ども」に直結する部分であります。今後も、子ども一人一人への目配り気配りを大切にしていきます。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」については、90%近い子どもが肯定的評価をしていました。しかし、一方で自分に自信がない子どももまだ多くいます。そこで、自己有用感の高まりをめざし、メッセージカードを活用していきます。児童会でやっているメッセージカードを学級でも書き溜めて、自己の振り返りを行い、その子のよさを家庭にもお知らせします。ご家庭でも、メッセージカードをご覧いただき、ぜひお子さんのよさや頑張りを褒めてあげてください。

(2) 保護者アンケートより<アンケートの結果と数値のとりえ> 数字は%

項目	今年度	昨年度	+-
学校に行くことを楽しみにしている。	92.8	91.5	+1.3
思いやりの気持ちや、いじめ・暴力を許さない態度が育っている。	91.3	92.5	-1.2
ルールやマナーを守る態度が身に付いている。	84.6	88.6	-4.0
家庭や地域で「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」などのあいさつをしている。	73.0	81.1	-8.1

- ・1学期は、特に「あいさつ」について重点的に指導してきました。1学期後半は、自分から挨拶をする子どもが増えてきました。しかし、保護者アンケートによる家庭や地域の様子では、まだまだといった結果が見られました。「いつでも、どこでも、誰にでも」をモットーに、気持ちのよい挨拶が定着できるよう、今後も引き続き指導していきます。家庭や地域でも、積極的な声かけや働きかけをお願いします。

(3) 教職員アンケートより<アンケートの結果と数値のとりえ> 数字は%

項目	教職員	子ども	+-
子どもは活動を楽しんでいる。(子ども：学校に来るのが楽しい)	92.6	96.1	-3.7
「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」(ありがとうございます)などのあいさつをしている。	74.1	94.1	-20.0
学級や学校のために、当番(給食、そうじ)や係の仕事をきちんとしている。	88.9	96.7	-7.8
学校のルールやマナーを守って生活している。	66.7	95.4	-28.7

- ・挨拶についての教職員の肯定的評価の割合は、子どもより随分と低いものでした。教職員からは、「挨拶をする子どもが増えたが、まだまだ形式的であり、相手によって差がある」という声もあり、今一步といったところです。2学期最初の生活目標は「進んで挨拶をしよう」です。生活目標の振り返りやあいさつ運動を行う中で、あいさつの意義やコミュニケーションとして大切であることも伝えながら、継続指導をしていきます。
- ・学校のルールやマナーを守った生活についても、肯定的評価の割合が7割弱と子どもの肯定的評価と大きな開きが見られました。これには、新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用や、手洗い・うがいなどの新たな生活のきまりが増え、それに対する評価も影響しています。2学期スタートにあたり、学級で話し合いを行い、ルールについて子どもと考える機会を設けました。きちんとできている子どもや場面をとらえて、よかったことを伝えていきます。



3 健やか:「健康、体力づくり」

(1) 児童アンケートより<アンケートの結果と数値のとりえ> 数字は%

項目	今年度	昨年度	+-
進んで汗をかくまで、遊んだり運動したりしている。	89.3	85.5	+3.8
メディアのルールを決め、守るようにしている。	87.1	87.2	-0.1
毎日、バランスを考えて朝ごはんを食べている。	84.5	83.9	+0.6
決められた時刻までに寝ている。	83.0	79.5	+3.5
めあてや目標に向かって同じ学年の友達や他の学年の人と運動することは楽しい。	89.3	94.6	-5.3

・「学び」や「かかわり」に関する児童アンケートの肯定的評価と比べると、「健やか」に関する肯定的評価は若干低い傾向が見られました。1学期は、学年全体や他学年と一緒に運動する機会が制限されたことも影響していると考えます。ただし、子どもは数々の制限下でも、グラウンドや西玄関の遊び場を活用しながら、休み時間に体を動かして遊ぶ姿が見られました。体育授業の始めには、学年ごとに走る運動を工夫したり、全校ダンス（パプリカダンス）を取り入れたりして、楽しく運動していました。

（２）保護者アンケートより<アンケートの結果と数値のとらえ> 数字は%

項目	今年度	昨年度	+-
「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付いている。	79.1	80.2	-1.1
ご家庭では、メディアのルールを決め、守るように働きかけている。	79.8	80.7	-0.9

・昨年度同時期とほぼ同様の結果でした。今後も、引き続き、各ご家庭で基本的な生活習慣やメディアに関するルールの徹底等、ご協力をよろしくお願いいたします。また、高学年になるとオンラインゲーム等で、友達や見知らぬ大人ともつながる実態や、そこから事件性に発展する事例も市内・県内問わず報告されています。まずは、家庭でのお子さんの状況を確実に把握していただければと思います。

（３）教職員アンケートより<アンケートの結果と数値のとらえ> 数字は%

項目	教師	子ども	+-
子どもは、進んで運動したり遊んだりしている。	92.6	89.3	+3.3
子どもは、メディアのルールを決め、守るようにしている。	29.6	87.1	-57.5
めあてや目標に向かって、同じ学年の友達や他の学年の人と運動することは楽しい。	77.8	89.3	-11.5

・メディアについてのとらえが、教職員と児童に大きな開きがありました。子どもの具体的な実態を把握した上で、実態に即したルールを見直していきたいと思います。2学期に、1・3・5学年では「親子アウトメディア講習会」を予定しています。講習会を機に、親子でメディアについての約束やメディア依存の危険性を考えてもらえればと思います。また、全学年でメディアを取り上げた授業を、学年の子どもの実態に即して行います。

保護者アンケート自由記述より

保護者の皆様からの自由記述では、たくさんのご意見をいただきました。コロナ禍での数々の活動制限や規制にも関わらず元気に喜んで登校するお子さんの様子や学校の感染防止対策に関して、嬉しいお言葉をいただきました。我々教職員一同も大変励みとなりました。一方、家庭学習の取り組み方、登下校の仕方、メディアとのかかわり方等について、気になったり気付いたりしたことも教えていただきました。学校でも真摯に受け止め、対応や改善できる部分は、早急に取り組んでいきたいと思ひます。



いただきましたご意見等の一部を、以下にご紹介します。また、四角囲みに、ご意見に対する学校側のコメントを記載いたしました。

<子どもの様子について>

- コロナウイルスが流行している中、子どもたちが安心して学校で学べるよう、毎日対応や配慮をしていただきありがとうございます。3月からのお休み期間を経て、学校へ行くことはとても楽しみにしています。習ったことや知り得たことを得意そうに話してくれるようになりました。特に、野菜の栽培は熱心に取り組んでいるようです。今後は、勉強はもちろん、集団生活の中で人間関係をより一層育んでいけるよう、ご指導宜しくをお願いします。
- コロナウイルス感染予防のため、休校、分散登校などがありましたが、そのための学習面での遅れ、学校への適応への遅れを心配しましたが、何とか大丈夫そうなので安心しています。異例の形で入学し、友達関係等も心配しましたが、仲良くやっているようでよかったです。先生方もよく見てくださっているおかげです。コロナ禍の中でも、子どもたちが楽しく充実した形で学校生活を過ごせるように、保護者としてもできるだけサポートしていきたいと思います。学習や行事等、家庭で協力できることがありましたらお伝えください。

⇒ 昨年度末に続き、4月中旬からの臨時休業や、5月の分散登校等により、子どもや保護者の皆様には多大なるご心配をおかけしたことと思います。そのような緊急事態の中でも、無事1学期を終えることができました。これも保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。

<学習面について>

- 宿題や勉強は自分から取り組む姿が多くみられるようになりました。決めた時間、勉強するのはよいのですが、時間をこなせばよいという感じもするので、勉強に対する意欲や集中力を高めていけるようになると、なおよいです。
- 上の子の時も思っていたのですが、学年テストの前段階で練習問題が与えられるのですが、本番で同じ問題が出題されて満点が取れても実力にはならないと思っています。問題が出された中で何が出題されるのかわからないほうが本当の実力が分かると思うのですが、同じ問題を練習することはよいと思うのですが、そのままそっくり出題されるのはよいとは思っていません。満点が取れてうれしい気持ちも大切ですが、間違えて悔しい思いも大切だと思います。

⇒ 宿題の内容やテストの出題方法などは、子どもにどのような力をつけさせたいのかというねらいともかかわってきます。学年にもよりますが、「なぜその宿題をするのか」「どうしてそのようなテストをするのか」を分かってしているのと、分からずにたださせられているのでは、意欲や習熟にも随分開きがあるものと考えます。学年に応じて、子どもにはその意味や意義を話したり、子どもが実感したりできるようにしていきます。

<挨拶について>

- （お便りにもあったが）あいさつができなくなっている。特に感じるのは、朝の登校班。初めのころは自分からあいさつしていたが、お兄さん、お姉さんから返事が返って来なかったり、声が小さくて聞こえなかったりで、自分からあいさつをしなくなったようだ。
- あいさつが恥ずかしがって、こちらから促さないとならないか、自分からできても小さな声なので、明るくあいさつができるように家でも教えますが、できるようになってほしいです。

⇒ 挨拶に関しては、2学期も継続的に取り組んでいきます。まずは高学年から手本となるような挨拶ができるよう働きかけていきたいと思ひます。ぜひ、地域で子どもたちと出会う機会があったら、「おはよう」「こんにちは」などの言葉をかけていただきたいと思ひます。

<新型コロナ対応について>

- 感染症に関して、衛生面での対策はもちろんです、マーチングの発表会や修学旅行など、6年生や保護者の気持ちを考えたご配慮、ありがとうございます。
- コロナで参観等がなくなり、子どもの学校での様子を見る機会が少なくなり残念です。
- 学校に行くのが楽しい、友達と遊ぶのが楽しいと言っている姿を見ると、親としてうれしく思ひます。コロナの影響でなかなか学校での様子が見られず残念です。いろんな形で、細かめに教えていただけると安心し、見守っていけるのかなと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

⇒ 今年度、まずは子どもの安全・安心を第一に考えています。そのために、予定していた行事や活動が中止や延期となり、私たち教職員としても歯がゆい思いでいっぱいです。まだまだ完全収束にはほど遠いこともあり、例年どおりというわけにはいかない状況です。そこで、今、子どもにとって本当に必要なことは何かを熟考し、感染予防対策を十分にとった上で今後も教育活動に取り組んでいきます。学校でのお子さんの様子を直接見る機会が限られる現状が今しばらく続きますが、ぜひご理解とご協力をお願ひいたします。

<メディアとのかかわりについて>

- 一日のメディア時間を一応決めているのですが、なかなか守ってくれなくて困ります。一日の中で、必ず見ないといけない感じになっていて困っています。
- タブレットの使用時間が全く守れず、とても困っています。これで中学受験をするというのですから親はびっくりです。

⇒ 学校でもメディアとの関わり方について、学年の発達段階に応じて指導したり、授業の中で子どもが考えたりしていく機会を設けていきます。しかし、メディアに関しては、家庭ごとに状況が大きく違っており、各家庭でそれぞれの状況に合わせて指導することが欠かせません。ルールなしで、自由にさせておくことは子どものためになりません。ご家庭でお子さんの実態を確実に把握し、ルールや約束について必ずお子さんと話して決めてください。

<学校からの情報発信について>

- ホームページをもっと更新してほしいです。(4年生のタグだけ更新されているようですが)
- 学校の様子が全く分からない。やらなければならないことが全く分からない。口頭等だけでなく、学年だより等で保護者にも分かるように通知してほしい。

⇒ 学校ホームページの定期的な更新に努めたり、学年だよりでも具体的な様子をお知らせしたりしていきたいと思ひます。

<登校について>

- 通学班についてですが、集合時間に遅れる子がいたら待たずに出発してよいことになっていても、低学年の子を置いていくのは気が引けるようで待ってしまいます。時間に間に合わない（学校を休む）場合は、せめて集合時間前に班長（副班長）に連絡していただけるようお願いいたします。

⇒ 班長は、高学年として下級生を学校まで連れてくるということにそれ相応の責任を感じています。集合時刻に間に合わない場合は、9月1日の文書でもお知らせしたように確実に班長（副班長）に連絡を入れてください。集合時刻が過ぎても連絡がなく、集合場所に来ていない場合は、出発してよいことになっています。

⇒ 9月早々に臨時の通学班会議を行い、そこで朝の集合時刻を再確認しました。学校の玄関が開く7時50分より前に到着する班に関しては、玄関前での密集状態を回避するためにも集合時刻を遅らせることにしました。その結果、登校する時間が早すぎる班もなくなりました。

<職員の対応について>

- 学校側の大変さも理解はしておりますが、大切な連絡など、伝えたことを何度も言わなければいけないときがあります。先生方の共有部分でもあると思いますのでよろしくお願いします。
- クラスによって進み方等違うのは分かるが、全体的な部分が統一されていない気がする。学校で何をしているのかよく分からないときがある。
- 先生は先生の仕事を全うしてください。修学旅行の行き先がナンセンス。リスクヘッジちゃんとしていますか。

⇒ いただいたご意見を参考にしながら、保護者の皆様とも連携して子どもたちを支援していきます。修学旅行の行き先については、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、県外から県内に変更するとともに、宿泊も1泊としました。また、3密の回避や消毒の徹底（消毒液を入れた個人用の容器を学校で準備）等、感染症予防対策を十分に図り、安全安心を第一としながら、6年生にとって実りある学習となるように努めます。

- すばらしい先生方に見守られ、娘は毎日学校へ行くことを楽しみに過ごしています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

⇒ 職員も人間ですので、保護者の皆様からこのような言葉をいただくと、やはりうれしいですし、励みにもなります。ありがとうございます。

第2回学校運営協議会から

9月11日に第2回学校運営協議会が開催され、前期の学校評価や教育活動について、協議していただきました。ご意見は以下のとおりです。出されたご意見等を今後の学校運営に生かしていきます。

【ご意見（抜粋）】

- ・地域の方から児童の挨拶が以前よりよくなったと聞いている。毎朝、交差点で子どもと出会うが、春よりも自分から挨拶する子どもが増えた。これからも明るい挨拶の音が響く学校であってほしい。
- ・9月11日は、今年初めての学習参観であったが、子どもたちが元気に過ごしている様子を見ることができ安心した。
- ・3年生の道徳（人権教育、同和教育）の授業では、3学級とも子どもがよく話を聞き、学習ルールも徹底されていた。
- ・子どもが口を閉じて真剣に避難訓練をしている様子が見られた。
- ・放課後児童クラブを利用している児童の保護者も、できれば引き渡し訓練に参加できるとよい。緊急時は、放課後児童クラブが閉鎖となる可能性も高い。
- ・下校後、夕方遅くまで地域で遊んでいる子どもがいる。高志小学校の帰宅時刻のルールはどうなっているか。（⇒ 夏期17:30 冬期16:30）
- ・文化会館の工事に伴い、壁画に飾られている2年生の絵画が素晴らしい。最近ではJCVで4年生の活動が放送されていた。高志小学校の教育活動や子どものよさを今後もどんどん発信して行ってほしい。
- ・メディアに関しては、親がわが子とルールを決めた上で、親が責任をもって持たせたり、使わせたりすべき。親の姿を子どもが見て育つ。親がスマホをかまいながら食事をとっていないだろうか。親子メディア学習会だけではなく、PTAから働き掛けたり、就学時健診で新入学児童保護者へ話をしたりしていくべきである。